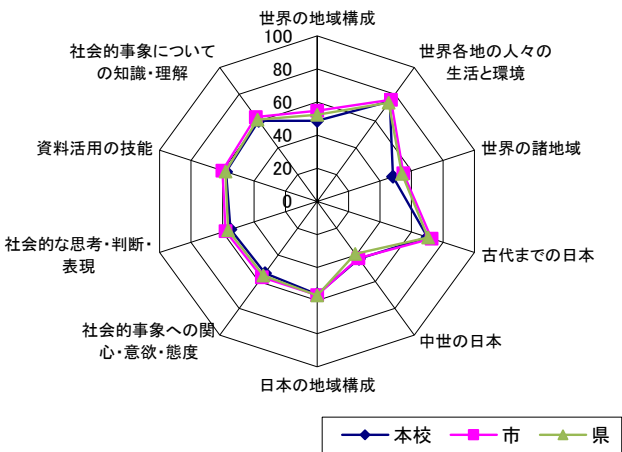


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	世界の地域構成	48.6	54.7	52.3
	世界各地の人々の生活と環境	74.7	75.9	73.7
	世界の諸地域	48.3	54.8	53.9
	古代までの日本	70.2	72.7	70.5
	中世の日本	43.0	42.4	39.3
	日本の地域構成	56.2	56.7	56.9
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	53.6	56.7	55.3
	社会的な思考・判断・表現	55.0	58.1	56.4
	資料活用・技能	57.8	60.1	58.2
	社会的事象についての知識・理解	60.1	62.9	61.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	平均正答率は市の平均を6.1ポイント、県の平均を3.7ポイント下回っている。 ○モルワイデ図法の特徴について把握できている。 ●世界地図から正しく方角を読み取り、判断することが難しい生徒が多い。	・授業等で、さまざまな世界地図の目的や長所と短所、使用法について整理して理解を深め、さらに定着するよう指導していく。 ・授業等で、地図資料を積極的に活用する学習活動を取り入れ、正しく読み取ることができるよう指導する。
世界各地の人々の生活と環境	平均正答率は市の平均を1.2ポイント下回っているが、県の平均よりは1.0ポイント上回っている。 ○寒い地域での生活の様子について、自然環境と関連付けて考えることができています。 ●乾燥帯における地域的特色について、理解できている生徒が少ない。	・各気候区における生活の様子について、写真資料を積極的に活用し、個別具体的な知識の獲得につなげていけるよう指導していく。
世界の諸地域	平均正答率は市の平均を6.5ポイント、県の平均を5.6ポイント下回っている。 ○EUの課題について、その課題を正しく理解し、原因を根拠づける資料を判断することができています。 ●グラフや表から読み取ったことを、正しく表現できる生徒が少ない。	・世界の諸地域の地域的特色と課題を各地域の学習が終わった後に振り返らせ、まとめる活動を取り入れる。
古代までの日本	平均正答率は市の平均を2.5ポイント、県の平均を0.3ポイント下回っている。 ○聖徳太子がめざした政治について、資料を正しく読み取り、判断することができています。 ●世紀の表し方について、理解が乏しい。	・歴史的分野の学習に際して、あらゆる事象を大まかな歴史的流れでとらえるよう指導し、年号に対する理解を深めさせる。
中世の日本	平均正答率は市の平均を0.6ポイント、県の平均を3.7ポイント上回っている。 ○武家政権の広まりや、それに伴う武士社会の制度について、資料をもとに考え、判断できる生徒が多い。 ●武士社会の変化について、資料をもとに判断できる生徒が多くない。	・その時代に生きる人々の心情に思いをはせ、歴史的な事象について考えさせることで社会情勢の変化をとらえさせる。
日本の地域構成	平均正答率は市の平均を0.5ポイント、県の平均を0.7ポイント下回っている。 ○日本の排他的経済水域について、資料を活用して判断することができる。 ●排他的経済水域に対する正しい理解が得られている生徒が少ない。	・日本の地形的な意味合いを含めて、歴史的・公民的な事項を含めながら指導していく。